

♪ 2018年度 poco a poco ♪

Nr. 8 2018年7月11日(水) 文責: プファイル・辰巳

ミニコンサートを終えて・・・

先週木曜日には、暑い中ミニコンサート会場に足をお運びくださりまして、ありがとうございました。お陰様で無事1学期のミニコンサートを終えることができました。気がついたことをいくつか書かせていただきます。



- **楽器** ヴァイオリンにフルート、リコーダー、鍵盤ハーモニカ、鉄琴、木琴、そして先生方のギターやウクレレ、ハーモニカ、三線まで登場して、バラエティに富んだコンサートになりました。次回もいろいろな楽器に挑戦して、楽しいアンサンブルを聞かせてほしいと思います。独唱もいいですね。
- **見通し** ミニコンサートの期日は年間行事予定に掲載されています。申し込みの受付は約3週間前から始めますが、それから計画を立てるのはなかなか難しいと思います。2学期出演を考えている人は、早めに計画を立てるようにしてください。伴奏が必要な人も、分かっている場合はなるべく早く相談してください。伴奏譜が見つからない時も、ギリギリではなければ、お手伝いすることができる事があるかと思います。見通しを立てて取り組んでください。
- **選曲** 習い事をしていれば、もちろん上達を目指して実力以上の曲に取り組み、それによって技量をのばしていくわけですが、人前で発表する場合は、その中からどの曲を発表するのか、よく考えてください。「見通し」を立てることも関係しますが、練習不足、未完成のまま本番を迎えると、不安も大きくなります。のびのびと発表できるよう、選曲も今一度よく考えるようにしましょう。
- **おしゃべり** 会場内はもちろん、控えの場所としての廊下、ロビー、吹き抜けになっている2階の廊下など、本番中は思わぬところからの雑音が気になるものです。さらなるお心遣いをお願いいたします。

音楽こぼれ話 <作曲家のこの一曲 ⑮ 三枝成彰

三枝編曲「夏は来ぬ」>

右の歌詞を読まれてメロディが思い浮かぶ方はどれくらいおられるでしょうか。この曲は明治時代から歌い継がれている日本の唱歌で、「日本の歌百選」にも選出されている曲です。

作曲者は小山作之助ですが、今回は特に、現代の日本の作曲家三枝成彰の編曲による「夏は来ぬ」を推薦したいと思います。

作曲家三枝成彰氏はオペラや管弦楽曲などのクラシックの曲から大河ドラマやアニメ、ゲームのBGMの作曲も手掛け、テレビなどの司会も務めるなど幅広い活躍を続けてこられました。東京芸術大学出身、75歳現役の作曲家です。

その三枝氏が編曲した「夏は来ぬ」は、1979年に初めて「NHKみんなの歌」で放送されました。ピアノ伴奏付きの女声合唱に編曲されたものを、実際に私も歌ったことがあるのですが、日本の昔ながらの唱歌と、ちょっとモダンですてきなピアノ伴奏の組み合わせが絶妙で、すばらしい楽曲に仕上がっています。

YOUTUBEでは、三枝編曲のピアノソロによる「夏は来ぬ」が聞けました。五月雨、田植えをする早乙女、ホトトギスなど日本の初夏を彩る風物を歌いこんだ美しい日本のメロディ。今回は、西洋の音楽からちょっと離れて、日本の夏に思いをはせてみてください。

夏は来ぬ (作詞 佐々木信綱)

1. 卯の花のにおう垣根に
ホトトギス 早も来 鳴きて
忍び音もらす 夏は来ぬ
2. 五月雨の注ぐ山田に
早乙女が裳裾ぬらして
玉苗植うる 夏は来ぬ

ちょっとだけ 演奏会情報

～ラインガウ音楽祭の演目より～



- 7月22日(日) ヴィースバーデン
19時から クアハウスにて
キングズシンガーズの演奏
演目は多様なアカペラ合唱曲
- 8月10日(金) エーベルバッハ修道院 (Eltville) にて
20時から オーボエ演奏家 アルブレヒト・マイヤーの演奏
モーツァルトの弦楽セレナーデ ほか